

1 改善の背景及び経緯

(1) 改善の背景

- ア 「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の**三つの資質・能力をバランス良く育成する**ものとされた「中学校学習指導要領(平成29年告示)」の趣旨を踏まえた入学者選抜の実現
- イ 各高等学校の**入学者の受入れに関する方針**(アドミッション・ポリシー)に**基づき**、受検生が興味・関心を持って進路選択ができる入学者選抜の実現
- ウ 部活動の地域クラブ活動への移行等による生徒の**学校内外における活動の多様化**を踏まえた入学者選抜の実現

(2) 改善の経緯 及び 今後の流れ

- | | |
|---------|---|
| 令和5年3月 | 「埼玉県公立高等学校入学者選抜方法の改善について(第16次報告)」 |
| 9月 | 「埼玉県公立高等学校入学者選抜方法の改善に関する報告」 |
| 10月 | 「埼玉県公立高等学校入学者選抜方法の改善について(素案)」公表 及び 県民コメント実施(10~11月) |
| 12月 | 「埼玉県公立高等学校入学者選抜方法の改善について」教育委員会報告・公表 |
| 令和6年9月 | 「令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜実施基本方針」教育委員会報告・公表(←本件) |
| 10月 | 「令和9年度入学者選抜 実施要項・選抜要領(暫定版)」公表 |
| 令和7年12月 | 「令和9年度入学者選抜 各高校の選抜実施内容(暫定版)」公表 |
| 令和8年5月 | 「令和9年度入学者選抜 実施要項・選抜要領」決定・公表 |
| 7月 | 「令和9年度入学者選抜 各高校の選抜実施内容」決定・公表 |

2 調査書及び自己評価資料

記載項目は「各教科の学習の記録」（9教科5段階の評定）、「総合的な学習の時間の記録」とする。

現行

令和9年度入試

(様式1) 令和7年度入学志願者調査書
(様式2) 成績及び諸活動等の記録通知書

第3学年	組	番	生徒氏名	志願先	高等学校	受検番号
性別	生年月日	平成	年	月	日生	卒業年月
		令和	年	月	卒業見込	

教科	評定			総合的な学習の時間の記録
	1年	2年	3年	
国語				2 3 特別活動等の記録 1年 2年 3年 生徒会活動 学校行事 その他
社会				
数学				
理科				
音楽				
美術				
保健体育				
技術・家庭				
外国語				
合計				

4
出欠の記録

学年	欠席日数	欠席の主な理由
1		
2		
3		

5
その他

令和7年度埼玉県公立高等学校入学選抜のために作成した調査書の内容は、上記のとおり相違ありません。
令和 年 月 日 学校名 校長氏名 印
記入責任者 氏名

「3 特別活動等の記録」、「5 その他」は、受検生が自己評価資料に活動内容等を記載

(様式) ※

自己評価資料

志願先 高等学校	立	高等学校	学科等	科・系・コース (部)
ふりがな 志願者氏名		出身校	立	中学校

1
これまでの自分の体験を振り返り、力を注いだことや努力をしたこと、高等学校入学後や将来取り組んでみたいこと、自己PRなどについて、自分の考えを書いてください。

公表したイメージから変更

自己評価資料そのものは評価せず、面接の際に参考とする。

2 学校独自項目

受検生が、志願先高等学校の選抜実施内容「面接」の「学校独自項目」を転記する

受検生が、「学校独自項目」について、記載する。

(様式1) 令和9年度入学志願者調査書
(様式2) 学習の記録等通知書

第3学年	組	番	生徒氏名	志願先	高等学校	受検番号
性別	生年月日	平成	年	月	日生	卒業年月
		令和	年	月	卒業見込	

各教科の学習の記録	教科名	評定									合計
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	
1	1年										
	2年										
	3年										

2
総合的な学習の時間の記録

備考

令和9年度埼玉県公立高等学校入学選抜のために作成した調査書の内容は、上記のとおり相違ありません。
令和 年 月 日 学校名 校長氏名 印
記入責任者 氏名

「4 出欠の記録」は削除

*様式1として利用するときは、「成績及び諸活動等の記録通知書」及び下段の「令和6年度...調査書の内容は、」を で消すこと。また、様式2として利用するときは、「令和7年度入学志願者調査書」を で消すこと。

*様式1として利用するときは、「学習の記録等通知書」及び下段の「令和9年度...調査書の内容は、」を で消すこと。また、様式2として利用するときは、「令和9年度入学志願者調査書」を で消すこと。

3 面接

- (1) **個人面接**又は**集団面接**により、**自己評価資料を参考**とし、実施する。
- (2) 受検生がこれまでの自分の体験を振り返り、力を注いだことや努力をしたこと、また高等学校入学後や将来取り組んでみたいこと、自己PRなどについて、**自らの言葉で表現**する。
- (3) **県教育委員会**が定めた**共通の評価の観点**及び**評価規準**を基に評価する。各高等学校が学校独自の項目を設定する場合は、各高等学校が評価の観点及び評価規準を定め、併せて評価する。

評価の観点（共通）		評価の観点（学校独自）
1 主体的・協働的な学びの力	2 自らの人生や社会の未来を切り拓く力	3（各高等学校が定める）
評価規準		
これまでの自身の活動を振り返りながら、持続可能な社会の創り手となるために、主体的・協働的に学び続ける意欲を持っているか。	自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値のある存在として尊重しながら、自らの人生や社会の未来を切り拓こうとしているか。	（各高等学校が定める）
評価		
5	<input type="checkbox"/> 「 大変優れたものとして評価できる 」 持続可能な社会の創り手となるために、主体的・協働的に学び続ける意欲が極めて明確で、具体性を持った、大変優れたものとして評価できる。	<input type="checkbox"/> 「 大変優れたものとして評価できる 」 自分のよさや可能性を十分に認識し、あらゆる他者を価値のある存在として大変よく尊重しながら、人生や社会の未来を切り拓こうとする意志が極めて明確で、具体性を持った、大変優れたものとして評価できる。
4	<input type="checkbox"/> 「 優れたものとして評価できる 」 持続可能な社会の創り手となるために、主体的・協働的に学び続ける意欲が明確で、優れたものとして評価できる。	<input type="checkbox"/> 「 優れたものとして評価できる 」 自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値のある存在として尊重しながら、人生や社会の未来を切り拓こうとする意志が明確で、優れたものとして評価できる。
3	<input type="checkbox"/> 「 評価に値する 」 持続可能な社会の創り手となるために、主体的・協働的に学び続ける意欲が、評価に値する。	<input type="checkbox"/> 「 評価に値する 」 自分のよさや可能性を認識しようとし、人生や社会の未来を切り拓こうとする意志が、評価に値する。

4 選抜の特色化

(1) 共通選抜

ア 学力検査・調査書・面接について、**県教育委員会が定める**方法によって得点を算出し、選抜する。

イ 学力検査の得点は、各教科100点、5教科合計500点満点とする。

ウ 調査書の得点は、次のとおりとする。

・各学年の学習点の合計(9教科×5段階評価=45点満点)の比率を次の①～③から選択し、基本点とする。

① 1 : 1 : 1 (135点満点) ② 1 : 1 : 2 (180点満点) ③ 1 : 1 : 3 (225点満点)

・基本点を次の①～③から選択した得点に換算する。

①200点 ②300点 ③400点

エ 面接の得点は、基本点(30点)を、① 1倍(30点満点)又は② 2倍(60点満点)する。

(例) 調査書の各学年の学習点の合計の比率を① 1 : 1 : 1として、調査書の得点①200点、面接の得点① 1倍を選択すると、500(学力検査) + 200(調査書) + 30(面接) = 730点(合計)

共通選抜の得点について

学力検査	調査書	面接	合計
500	200	30	730
		60	760
	300	30	830
		60	860
	400	30	930
		60	960

※小数点以下の端数が生じるときは、小数第1位を四捨五入

(2) 特色選抜

ア 学力検査(1教科に150点又は200点、3教科までの**傾斜配点**も可)・調査書・面接について、学科、コース等の特色に応じて**各高等学校が定める**方法によって得点を算出し、選抜する。

イ **特色検査**(実技検査・作文(小論文))を実施する場合は、前述のアに加えて資料とする。

ウ 特色検査を実施しない場合は、共通選抜の得点の算出方法とは**異なる取扱い**とする。

(例) 数学・英語を200点へ傾斜配点、調査書の各学年の学習点の合計の比率を1 : 2 : 2(225点満点)として、調査書の得点を450点に換算、面接の得点を4倍とすると、700(学力検査) + 450(調査書) + 120(面接) = 1,270点(合計)

5 選抜の手順及び各選抜における入学許可候補者数の割合

(1) 共通選抜及び特色選抜の両方を実施する場合

特色選抜⇒共通選抜の順に選抜

※入学許可候補者の人数割合

- ・特色選抜は、募集人員の20～80% (10%刻み)
- ・共通選抜は、残りの100%

(2) 共通選抜のみ又は特色選抜のみを実施する場合

ア 第1次選抜、第2次選抜を設定
 イ 第1次選抜と第2次選抜では、複数の尺度に基づく異なる選抜方法を実施することに配慮し、**得点の取扱いに差を設ける。**

※入学許可候補者の人数割合

- ・第1次選抜は、募集人員の60～80% (10%刻み)
- ・第2次選抜は、残りの100%

〇〇制	埼玉県立●●高等学校	〇〇科・▼▼科・□□科
目指す学校像		
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)		
募集学科等【人数】	〇〇科【238人】	①特色 30% (71人) ②共通 70% (167人)
選抜の種類	特色選抜	共通選抜
学力検査	国語・社会・数学・理科・英語の5教科 <input checked="" type="checkbox"/> 傾斜配点 有【数学・理科】	国語・社会・数学・理科・英語の5教科 <input type="checkbox"/> 数学と英語は、学校選択問題を実施する。
調査書	学年間の比率 1年 2年 3年 換算点 1 : 2 : 2 225	学年間の比率 1年 2年 3年 換算点 1 : 1 : ①2・3 135
面接	自己評価資料 学校独自項目	
	評価の観点 評価の規準	
特色検査 ※実施する場合のみ	実施内容	
	評価の観点	
選抜資料配点	学力検査 調査書 面接 特色検査 合計	学力検査 調査書 面接 合計
第2志望	あり または なし	
その他		

〇〇制	埼玉県立●●高等学校	〇〇科・▼▼科・□□科
目指す学校像		
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)		
募集学科等【人数】	〇〇科【238人】	①第1次 70% (167人) ②第2次 30% (71人)
選抜の種類	共通選抜 (第1次選抜)	共通選抜 (第2次選抜)
学力検査	国語・社会・数学・理科・英語の5教科 <input type="checkbox"/> 数学と英語は、学校選択問題を実施する。	
調査書	学年間の比率 1年 2年 3年 換算点 1 : 1 : ①2・3 135	学年間の比率 1年 2年 3年 換算点 1 : 1 : ①2・3 135
面接	自己評価資料 学校独自項目	
	評価の観点 評価の規準	
選抜資料配点	学力検査 調査書 面接 合計	学力検査 調査書 面接 合計
第2志望	あり または なし	
その他		

6 その他

(1) 日程

学力検査は、令和9年2月下旬に実施する。その他、日程の詳細は、令和7年5月に公表予定。

(2) 追検査

面接・特色検査は実施しない。

※ 不登校の生徒などを対象とした特別な選抜、帰国生徒特別選抜による募集、外国人特別選抜による募集及び定時制の課程における特別募集では、面接を実施する。

(3) 不登校の生徒などを対象とした特別な選抜

自己申告書を提出した者を対象に、調査書を資料とせず、学力検査の得点の合計、面接の得点、特色検査の得点（実施する場合）及び自己申告書の内容を資料とする特別な選抜を行う。

(4) その他

第2志望、欠員補充、帰国生徒特別選抜による募集、外国人特別選抜による募集、定時制の課程における特別募集、県立大宮中央高等学校における募集、秋季募集並びに障害のある志願者に対する配慮事項及び配慮が必要な場合の手續等は、現行の選抜制度と同様とする。